

市内通学路の整備と
街灯の設置に関する
要望書

令和2年5月

矢板市議会

1. 要望の要旨

- (1) 歩道のバリアフリー化
- (2) 矢板駅東西の自転車移動の簡便化
- (3) 通学路の街灯設置

2. 要望の理由

矢板市議会が主催する市民との意見交換会、高校生との意見交換会において開催当初から要望されている事項である。経済建設文教常任委員会委員が現地調査にあたり、市民、特に高校生の安心安全な生活を確保するために改善が必要と認めた。

市内3高校においては、各高等学校ともに全国大会出場や市内イベントへのボランティア参加など、矢板市に多大なる貢献を重ねており、市のイメージアップにも大いに寄与しているので、「子や孫が帰ってくるまちづくり」実現のためにも、早期の対応を望むところである。

特に、

- (1) 矢板中央高等学校から矢板駅西口までの区間においては、歩道に桜の老木があり極端に狭いため、歩道の確保を図る必要がある。また、横断歩道と車道に段差が大きい箇所があるため、バリアフリー化する必要があること。

- (2) 矢板東高等学校から矢板駅東口までの区間においては、横断歩道と車道に段差が大きい箇所があるため、バリアフリー化する必要があること。
- (3) 矢板高等学校から矢板駅市営駐車場までの区間においては、旧西小学校から高速道路まで、ヨークベニマルから市営駐車場までの、夕方以降の帰宅時に不安があるため、街灯設置をする必要があること。
- (4) 矢板駅西口及び駅東口間において、自転車移動が困難なため、この間の移動を容易にすること。

以上、要望するものである。

令和2年5月15日

矢板市長 齋藤 淳一郎 様

矢板市議会議長 石井 侑男